



(公財)日本ユニセフ協会協定地域組織／愛知県ユニセフ協会
〒464-0824 愛知県名古屋市千種区稻舟通1-39
生協生活文化会館2階(コープ本山2階)
☎ 052(783)7230 FAX 052(781)7191



3年の感謝を力に、5周年へ

子どもの権利を守り 健やかな成長を見守る



愛知県ユニセフ協会 会長・理事
国立大学法人東海国立大学機構
名古屋大学総長 杉山 直

愛知県ユニセフ協会が全国27番目の協会として発足してから、早いもので3年になります。この間、世界ではウクライナとロシアの戦争は未だ続き、ようやくパレスチナとイスラエル紛争は終結へと向かうように見えていますが、各地での紛争がなくなる兆しは全く見られません。紛争において一番の犠牲者は常に子どもたちです。

国内に目を向けると、格差がますます拡大する一方です。格

差はそのまま子どもたちの教育や成長の環境に反映されます。

今こそ、すべての子どもの命と権利を守るというユニセフの理念、そして子どもの権利条約が果たす役割が、重要になってきています。

愛知県ユニセフ協会は、ユニセフの理念のもと、出前学習会、オンライン学習会、ユニセフ・ラブウォークなどのイベントの主催や参加、募金活動、寄付のお願い、大府市との包括連携協定締結など、しっかりと足元を固めながらこの3年、着実に活動を拡大してまいりました。これもひとえに、事務局やボランティアの皆さまのご尽力あっての成果です。

これらの成果を足場に、一つの大きな節目である5周年に向けて、さらに活動を活発化していきたいと考えています。どんな小さなことでもかまいません。皆さん一人ひとりの「子どもの権利を守り、その健やかな成長を見守る」という気持ちが大切です。どうか引き続きご協力、お願いします。

愛知県ユニセフ協会主催『ユニセフ愛知のつどい～想いをつなぐ遺贈寄付の方法～』開催

すべての子どもたちに笑顔と希望を

11月29日(土)コープあいち豊橋生協会館にて、日本ユニセフ協会レガシー相談室のスタッフを講師にお迎えし開催しました。当日は、遺贈によるご支援が世界の子どもたちの命と未来をどのように支えているのかを「ユニセフ遺産寄付プログラム」を通して、実際の活動事例を交え分かりやすく紹介いただきました。



「ユニセフ遺産寄付プログラム」についての詳細はこちらから



日本ユニセフ協会
レガシー相談室 浅井大介さん

■ユニセフとは 世界の子どもたち ユニセフ遺産寄付 プログラムについて

講師から、遺贈のしくみや手続きの流れを、初めての方にも分かりやすく、前向きに活用できる形でお話いただきました。

●遺産寄付とは⇒遺産からのご寄付

●遺贈とは⇒⇒遺言書を作り遺産を特定の人や団体に贈ったり寄付すること

●法的に有効な遺言書

①公正証書遺言⇒公証人と相談し公証役場で作成(作成費用がかかる)

②自筆証書遺言⇒手書きで作成。作成の日付を記し署名捺印をする(作成は無料)

この他に、遺言書例文の紹介、不動産の遺贈、相続税、相続財産寄付の相続の手続きとご寄付の流れなど、よくあるご質問からの事例も交えて説明いただきました。

■講座を受けられた方の感想

- 遺贈のことだけでなくユニセフの話も聞けたので、寄付の重要性や繋がりが分かった。
- ユニセフの活動等具体的なことが紹介されてユニセフへの理解が深まった。
- 遺贈は高額である必要はないことや、全財産を寄付しなくても一部でもよいこと、香典返しを充てられることなどを知り、できる範囲で考えればよいということが分かり気が楽になった。良い話だったので周りに知らせてあげようと思う。
- ぜひいろんな場所で開催していただければと思います。



たくさんの質問にも
丁寧にお答えいただきました



今回のつどいを通じて、
遺贈が『自分らしい想いを未
来へ届ける方法』として、よ
り親しみをもって知ってい
ただけたのではないかと感
じています。ご参加くださ
いました皆さま、本当にあり
がとうございました。これからも、皆さまの“想いをつなぐ”お手
伝いができるよう、役立つ情報を発信してまいります。

© unicef

団体賛助会員の紹介

愛知県ユニセフ協会の活動を支援していただいている企業・団体の皆さまの世界の子どもたちに向けた想いやユニセフへのエールをご紹介します。

サステイナブルなひと、 生活クラブ 生活協同組合

- 生活クラブ生協（愛知）は、1987年に誕生、愛知県内に約1万1000人の組合員をもつ宅配生協です。私たちは、「何を選択し、どのように消費するかが、子どもたちの未来へつながっている。」と考えています。だから、産地・生産者・製造法・流通経路・価格など、食材が手元に届くまでの全ての情報公開を徹底しています。そして、原材料の生産環境における生物多様性や、生産に従事する人々の人権に配慮した責任ある調達を追求しています。
- また、全国74カ所の発電所と提携して再生可能エネルギーの共同購入を行なっています。様々なエネルギー源や発電方法について学び、電気の産地へ訪問し、今自分たちが選びたいエネルギーについて考えています。
- 2023年より愛知県ユニセフ協会の賛助会員になり、2025年には気候危機と災害をテーマにした企画にて参加いただきたり、ユニセフ協会事務所を訪問し活動について学ぶ機会をいただいたりしました。今後も、多くの組合員と共にユニセフの活動に積極的に参画していきたいと思います。



株式会社トーカン

- 株式会社トーカンは、東海地方を拠点とする食品卸売企業として、日々の食卓へ安全・安心をお届けするだけでなく、次世代を担う子どもたちが健やかに成長できる社会の実現を願い、愛知県ユニセフ協会の活動を支援させていただいております。



- その活動の一環として、直近では「ユニセフ・ラブ・ウォーク」にて自社商品の提供を通じた協賛をさせていただきました。参加者の皆様が健やかに歩みを進めるお手伝いができたことは、食のインフラを担う私たちにとっても大きな喜びとなりました。

- 世界には依然として困難な状況にある子どもたちが多く存在しますが、皆様と共に歩む支援の輪が、明るい未来への一步になると信じております。今後も食品流通の役割を果たすとともに、地域社会、そして世界の子どもたちの笑顔を守るために活動に、微力ながら尽力してまいります。



コーミ株式会社



- 私たちコーミ株式会社は、昭和25年（1950年）に食品メーカーとしてスタートし、2026年で創業76年を迎えます。私たちは製品、事業活動を通じて食文化への貢献、社会課題への対応を進めています。
- また、「全従業員の物心両面の幸福を追求すると同時に、社会、食文化の進歩発展に貢献する」と「生活者の環境と食品への安心、安全を優先し、コーミらしさにこだわり、食文化に貢献する価値ある食品を創り届け続けてゆきます」の理念のもと、どんなに社会が変わろうとも人間にとて大切な食を通じて、お客様へ笑顔をお届けしていきます。
- 私たちは、愛知県を拠点とする食品メーカーとして、「いい味、いい笑顔」をバリュープロミスに掲げ、人々の食卓に寄り添ってきました。手作りトマトケチャップ企画や加工用トマト収穫体験を通した食育活動にも取り組み、愛知県ユニセフ協会の理念に賛同し、食を通じた明るい未来に繋がる活動として、SDGs目標②「飢餓をゼロに」、目標⑫「つくる責任 つかう責任」の実現を目指し活動しています。



北医療生活協同組合

北医療生活協同組合

- ユニセフは、世界中の子どもたちの命と未来を守るために活動している、なくてはならない存在です。北医療生協も、すべての子どもが生まれた場所に関係なく、安全に学び、健やかに成長できる社会を実現したいと考えています。



- 命と未来を守るユニセフの活動に共感し、紛争や貧困、災害などの厳しい状況の中でも、教育や医療、栄養支援を通して希望を届け続ける姿に深く心を打たれます。この姿勢は、医療・介護を通しての健康を守り、地域で誰もが安心して暮らせる社会を目指す北医療生協の理念と強く重なります。

地域の一員として、支え合いの輪を広げていきたいと思います。

第1回 ユニセフ in 愛・地球博 ラブウォーク 記念公園

10月4日(土)愛・地球博記念公園にて、愛知県ユニセフ協会主催『第1回ユニセフラブウォーク in 愛・地球博記念公園』を開催しました。あいにくの雨の中でしたが、総勢71名の方々にご参加いただき、モリコロパークセンターエリア周辺約4キロのコースを元気よく歩きました。ラブウォークは参加費がすべてユニセフ募金になることから、歩くだけのウォーキングではなく、世界の子どもたちのことや環境について学びながら支援できる画期的な活動です。



詳細はこちから



開会式

愛知県ユニセフ協会副会長・愛知県立大学学長の川畠博昭より開会挨拶を申し上げ、続いて愛知県ウォーキング協会会长伊奈正勝様、もりの学舎代表 水谷央様より雨の中のウォーキングの注意点や森の楽しみ方などを交えたご挨拶をいただきました。



愛知県
ウォーキング協会
伊奈正勝会長



愛知県ユニセフ協会副会長
愛知県立大学 川畠博昭学長

雨や風を
しのぐこともできない
子どもたちが世界には
たくさんいることを
思しながら
歩いていただければ
ありがたい



森の学舎
水谷央代表

ウォーキングスタート!

愛知県立大学の学生さんによる準備体操は雨でやめになりましたが5つのグループに分かれて約3分おきに時間差を設けてそれぞれスタート♪



point

もりの学舎によるモリコロクイズや 「ぎょろりを探せ!」

森の中のコースでは、もりの学舎の皆さんによる森の中の動物クイズや、「ぎょろり」を探しながらじっくりと森を観察しながら歩きました。



point

ユニセフの歴史、 世界の子どもたちの状況、 支援物資クイズ

愛知県ユニセフ協会ボランティアの皆さんにより、3か所のポイントでユニセフクイズを実施。ユニセフが生まれたのは戦後の1946年! ?というクイズや日本もユニセフの支援を受けていたこと、それが今の募金活動に繋がっていることなど学びを深めました。

全員が元気よく 完歩しました



●ウォーキングでは「サツキとメイの家」や「愛・地球博記念館」などモリコロパークを楽しめるコースにもなっており、たくさんの企業・団体様からも心のこもった協賛品のご協力をいただき、完歩した方全員への素敵な参加賞やお楽しみ抽選会で大いに盛り上りました。

●ご後援いただきました愛知県、愛知県教育委員会、長久手市、長久手市教育委員会の皆さま、ご協力いただきました愛知県立大学、愛知県ウォーキング協会、もりの学舎の皆さま、またご協賛いただきましたたくさんの企業・団体の皆さま、また雨の中びしょぬれになりながらお手伝いいただきましたボランティアの皆さんに心より御礼申し上げます。



ご協賛いただいた企業・団体紹介

生活協同組合コープあいち、株式会社ディリーファーム、生活クラブ生活協同組合、一宮生活協同組合、愛知県労働者福祉協議会、株式会社クレストジャパンホールディングス、北医療生活協同組合、株式会社おとうふ工房いしかわ、カゴメ株式会社、株式会社トーカン、国民共済COOP(愛知県推進本部)、株式会社昭和、ヨミ株式会社、一般社団法人ガールスカウト愛知県連盟(順不同・敬称略)

ありがとうございました

イベント

愛知県ユニセフ協会展示ルームにて『潮とともに生きる～アグネス大使とみたキリバス気候変動の現状～』動画とパネル展開催

7月31日(木)～8月7日(木)『潮とともに生きる～アグネス大使とみたキリバス気候変動の現状～』動画とパネル展を開催しました。期間中は、日進市の近藤市長はじめ、幅広い年代の多くの皆さんにご来訪いただきました。「実際にキリバスに行って見てみたい」「胸が詰まってしまった」など心温まる感想を寄せてくださいました。



生活クラブ生活協同組合主催「とよたパクパクECOフェスタ」にブース出展

8月23日(土)生活クラブ生活協同組合主催「とよたパクパクECOフェスタ～あそぶ！まなぶ！たべつながる未来のチカラ～」が開催されブース出展し、150名を超える多くの方々にお立寄りいただきました。ユニセフクイズにチャレンジしたり、世界の子どもたちの状況に熱心に耳を傾けてください、募金もお寄せいただきました。



金城学院幼稚園父母会バザーにブース出展

9月13日(土)楽しい企画が盛りだくさんの中、ユニセフブースにも多くの方々が立ち寄られ、クイズにも多くの親子連れや子どもたちがチャレンジしてくださいました。水がめの重さに驚いたり、「7秒に1人5歳の誕生日を迎えるに亡くなっている」ことに衝撃を受けるなど、世界の子どもたちのことを一緒に考える機会となりました。



SDGs AICHI EXPO <SDGs 子ども・ユースフェア>に大府市と合同ブース出展

10月3日(金)4日(土)大府市と愛知県ユニセフ協会が合同で2日間にわたりブース出展し、大村知事はじめ220名を超える皆さんにお立寄りいただきました。SDGsと密接に関わっているユニセフ活動について、また、熱帯地域で使われている蚊帳に入る体験をしていたなど、たくさんの方々にユニセフに関心を持っていただくことができ、募金もお寄せいただきました。



第56回大府市産業文化まつりにブース出展

10月25日(土)26日(日)第56回大府市産業文化まつりにブース出展しました。多くの来場者で大変な賑わいの中、ユニセフブースにも2日間合わせて大人から子どもまで170名を超える多くの方々にお立寄りいただきました。ユニセフクイズにチャレンジし、世界の子どもたちの状況やユニセフの支援などについて熱心に耳を傾けてください、募金もお寄せいただきました。



安城駅周辺にてユニセフ募金活動 安城高等学校2年生

8月6日(水)安城駅周辺にて、安城高等学校2年生の皆さん4名とユニセフ募金活動を行いました。当日生徒の皆さんからは「募金活動をしていて、たくさんの人が募金に協力してくれてとても嬉しい気持ちになりました!今度の発表会で今日の募金活動や世界中の子ども達の問題などを発表したいと思います。」との感想をいただきました。



バンテリンドーム連絡通路にて、 愛知県ユニセフ協会主催の募金活動

8月27日(水)小中高生ボランティアの皆さん19名と顧問の先生も一緒に募金活動を行いました。猛暑の中ででしたが、夏休みということもあり家族連れなどで賑わう中、皆で募金の呼びかけをしました。「頑張ってね!」「暑い中ご苦労さま」などの嬉しいお声かけをいただき、多くの募金をお寄せいただきました。



ウィルあいちにてユニセフ企画展「Poems for Peace～平和の詩～紛争下の子どもたちが綴る平和への思い」を開催

9月11日(木)～15日(月・祝)、あいち男女共同参画財団主催「あいち国際女性映画祭」の開催期間中、ウィルあいち1階交流サロンにてユニセフ企画展を開催しました。紛争下で暮らす子どもたちが自分の想いを詩に綴り、その声を届ける「Poems for Peace～平和の詩～」という取り組みを世界各地で行っています。



金城学院大学金城祭に ブース出展

10月25日(土)金城祭が開催され、ブース出展しました。たくさんの方々で賑わう中、愛知県ユニセフ協会ブースにも多くの皆さんにお立ち寄りいただきました。クイズに参加し、写真パネルや支援物資を手に取って興味を示され、スタッフの説明にも熱心に耳を傾けてください「知らないかったです」「とても勉強になりました」等の感想をいただきました。



愛知県立大学 県大祭にブース出展

11月2日(日)ユニセフブースを出展しました。当日は150人を超える皆さんにお立寄りいただき、水がめを持ったり、熱帯地域で使われている蚊帳に入る体験などをしていただきました。様々な大学の学生、また高校生や大学OBの家族連れなど幅広い方が、ユニセフクイズにチャレンジくださり、温かい善意もお寄せいただきました。



南医療生活協同組合 秋のふれあい健康まつりにブース出展

11月2日(日) 南医療生協と南大高町内会合同開催の「秋のふれあい健康まつり」が開催され、ユニセフブース出展をしました。当日はパネル展示、支援物資の見本展示をし、クイズにチャレンジしてもらいました。お子様連れの家族で賑わう中、76名の方にお立ち寄りいただき、熱心にボランティアの話も聞いてくれるお子様もあり募金もお寄せいただきました。



名古屋市立大学市大祭に ブース出展

11月8日(土) 名古屋市立大学ampusでの市大祭にブース出展しました。子どもさんから現役生、卒業生、高校生など近隣の方まで幅広い多くの皆さんにユニセフクイズに参加いただきました。ユニセフの活動でたくさんの命や子どもの権利が守られる事実をお伝えしました。温かい善意もお寄せいただきました。



大学生協「東海ブロックフェスティバル2025」に ブース出展

11月29日(土) 大学生協会員の皆さまの今年度の総括と次年度を考える大切な場である「東海ブロックフェスティバル2025」の『新しい視点ブース』に出演させていただきました。ブースに立ち寄られた多くの学生の皆さんに、ユニセフクイズを通してユニセフの理念、活動を知っていただくことができました。温かいご善意もいただきました。



学習会

聖霊高等学校2年生 学習会を開催しました

8月1日(金) 聖霊高等学校2年生の皆さん5名が、本山事務所・展示ルームでのユニセフ学習会に来訪されました。海外のスラム街に関心が高く、学校の文化祭でユニセフ募金をされる前の学習ということで、ユニセフ活動についての講座を聴いてくださいました。ユニセフ企画展「潮とともに生きる～アグネス大使とみたキリバヌ、気候変動の現状」の写真パネルや動画も熱心に観ていただきました。



生活クラブ生活協同組合 学習会を開催しました

本山にて

9月12日(金) 生活クラブ生活協同組合の中野理事長はじめ副理事長、職員の皆さん3名が、本山展示ルームでのユニセフ学習会に来訪されました。生活クラブ生協様は愛知県ユニセフ協会の団体賛助会員でご協力いただいており、ユニセフ活動についての説明を熱心にお聞きいただき、生協としてできるることや子どもたちの未来についてなど率直な意見交換をしました。



愛知県勤労者スポーツフェスティバルに ブース出展

11月8日(土) 愛知県勤労者スポーツフェスティバル実行委員会主催のスポーツフェスティバルに愛知県労働者福祉協議会からお声がけいただき、ブース出展しました。家族連れなど大勢の参加者で賑わう中、ユニセフブースにも約200人の皆さんにお立ち寄りいただき、水がめを持ち、熱帯地域で使われている蚊帳に入る体験などをしながら、ユニセフクイズにチャレンジいただきました。



ガールスカウト愛知県連盟 パープルマルシェにブース出展

11月9日(日) ガールスカウト愛知県連盟主催のパープルマルシェが開催され、ブース出展しました。『女性に対する暴力をなくす運動(パープルリボン＊キャンペーン)』の一環として、パープルマルシェを実施されました。ユニセフブースにも約50人の皆さんにお立ち寄りいただき、栄養状態を測るメジャー体験もしながらユニセフクイズにチャレンジいただきました。温かい募金もお寄せいただきました。



金城学院幼稚園クリスマス親子礼拝に ブース出展

12月20日(土) 金城学院大学アニー・ランドルフ記念講堂での金城学院幼稚園クリスマス親子礼拝にブース出展しました。子どもたちに「すべての子どもに〇〇を」の〇〇に当てはまる言葉を考えもらい、「願いのリース」に貼っていただきました。「おいしいご飯」「きれいな水」「希望」「夢」など、過酷な環境で生きる子どもたちにあったらいいなと思う言葉を選んでいただきました。温かいご寄付もいただきました。



東海中学校3年生 学習会を開催しました

本山にて

8月8日(金) 東海中学校3年生の皆さん4名が、本山展示ルームでのユニセフ学習会に来訪されました。世界の子どもたちの現状や子どもの権利条約、ユニセフ活動についてSDGsも踏まえて講座を聴いていただきました。高い問題意識をもった様々な視点での話合いができ、学ばせていただくことが多い学習会でした。



清林館中学校2年生 土曜講座にて出前学習会を開催しました

9月20日(土) 清林館中学校にて、2年生50名の皆さんにユニセフ出前授業を行いました。多目的教室で全員にユニセフ基礎講座を通して世界の子どもたちの状況やSDGs、子どもの権利条約について学んだあと、2クラスに分かれてグループワークを行いました。この講座から、自分たちに何ができるかを考え行動に移していくこうという生徒の皆さんのかたちになりました。



金城学院大学野田セミナーの皆さま ご寄付&ユニセフ学習会を開催しました 本山にて

9月27日(土) 愛知県ユニセフ協会展示ルームにて、薬学部野田康弘教授のセミナーの学生の皆さまが、1年かけて集まつた使用済み切手をお持ちいただきました。ユニセフの学習会も受講いただきました。ユニセフの活動、子どもの権利についての説明を高い関心をもって熱心にお聞きいただきました。



名古屋市立伊勢山中学1年生 出前学習会(1回目)を開催しました

9月30日(火) 名古屋市立伊勢山中学校体育館にて、1年生155名の皆さんにユニセフ出前授業を行いました。2回講座のうち、1回目はユニセフ基礎講座を通して世界の子どもたちの状況やSDGs、子どもの権利条約について学びました。講師の問い合わせにもたくさんの方々が挙がり、多くの生徒の皆さんと意見交換をしながらの活発な授業となりました。



あま市立伊福小学校4年生 出前学習会を開催しました

10月17日(金) あま市立伊福小学校体育館にて、4年生56名の児童の皆さんにユニセフ出前授業を行いました。最初に全員にユニセフ基礎講座を通して世界の子どもたちの状況や水に関する課題、子どもの権利条約について学んだあと、2クラスに分かれて実際にネバールで使われている水がめを運ぶ体験をしました。



春日井市立不二小学校5年生 出前学習会を開催しました

10月21日(火) 春日井市立不二小学校にて、5年生140名の児童の皆さんにユニセフ出前授業を行いました。最初にユニセフ基礎講座について学んだあと、4クラスが4つのブースを回るグループワークを行いました。「栄養(上腕計測メジャー体験)」「水と衛生(水がめ体験)」「教育」「保健(蚊帳体験)」を、実施し、募金活動につなげていただきました。



名古屋市立伊勢山中学校1年生 出前学習会(2回目)を開催しました

10月23日(木) 名古屋市立伊勢山中学校体育館にて、1年生155名の皆さんにユニセフ出前授業を行いました。2回目の今回は4つのグループワークを行い、「栄養(上腕計測メジャー体験)」「水と衛生(水がめ体験)」「教育(教育を受けずに大人になったら)」「保健(蚊帳体験)」の体験を通して世界の変化を知り、学びを深めました。



犬山市立城東中学校1年生 学習会を開催しました

本山にて

10月24日(金) 犬山市立城東中学校1年生の皆さん5名が、校外学習で本山展示ルームでのユニセフ学習会に来訪されました。世界の子どもたちの現状や子どもの権利条約、ユニセフ活動について学習した後、展示されている支援物資や写真パネルなどを見学してもらい高い問題意識をもった様々な視点での話合いができました。



名古屋大学教育学部附属中学校2年生 学習会を開催しました

本山にて

11月6日(木) 名古屋大学教育学部附属中学校2年生の皆さん6名が、本山展示ルームでのユニセフ学習会に来訪されました。ユニセフ基礎講座を聞いた後、事前に送っていた質問にインタビュー形式で答えながら意見交換をしました。問題の本質に迫り、自らの行動に繋げようとする意気込みに、今後の活動がとても楽しみになりました。



名古屋大学インドネシア留学生 学習会を開催しました

本山にて

11月28日(金) 名古屋大学に留学しているインドネシアからの留学生の皆さん5名が、本山展示ルームにユニセフ学習会のため来訪されました。ユニセフ活動や世界の子どもたちの写真パネルの説明を熱心に聞いてくださいり、支援物資などについて興味深く手に取って見ながらインドネシアの子どもを取り巻く現状や母子手帳などの取組について活発な意見交換ができました。



日進市立日進中学校全校生徒 出前学習会を開催しました



12月3日(水) 日進市立日進中学校にて、全校生徒731名の皆さんに人権・国際理解講演会を行いました。講演後、「すべての子どもに〇〇を」を発表いただき、「明るい未来」「笑顔」など心のこもった言葉が積極的に出されました。終始熱心に耳を傾けてくださいり、人権や子どもの権利について考え、行動に移そうという真摯な姿勢に頼もしさを感じました。

犬山市立南部中学校1年生 学習会を開催しました

本山にて

12月4日(木) 犬山市立南部中学校1年生の皆さん9名が、名古屋分散学習で本山展示ルームでのユニセフ学習会に来訪されました。世界の子どもたちの現状や子どもの権利条約、ユニセフ活動について学習した後展示ルームに移動し、2グループに分かれて実際に使われている支援物資や写真パネルなどの説明を聞きながら見学して回りました。



金城学院大学薬学部野田セミナー オンライン学習会を開催しました

12月16日(火)野田セミナーの学生の皆さんにオンライン学習会を開催しました。子ども自身が納得して治療を受けられるよう支援するために必要な「子どもの権利」の基礎を学びたいとの思いから実現しました。7名の学生さんが参加され、子どもたちが奪われている権利や、その権利が守られるために自分たちにできることを考え合いました。学生の皆さんからは、情報として知ることの大切さや実際に活動に関わることで現地での支援をしていきたいなど、積極的な意見が出されました。



ガールスカウト愛知県第23団に出前学習会と ハンド・イン・ハンド募金に参加しました

12月21日(日)愛西市文化会館にて、昨年に引き続きガールスカウト愛知県第23団の皆さんに出前学習会を行いました。子ども7名と大人5名の12名の皆さんに、マラリアから子どもたちを守る「蚊帳」や子どもの権利条約について学習しました。実際に現地で使われている支援物資の「蚊帳」を広げ、中に入ってみて、熱帯地域の子どもの立場に立って自分にできることを考え合いました。学習会後は近くのスーパーに行き、店頭にてハンド・イン・ハンド募金活動を行いました。



ユニセフ豆知識

蚊帳(1張=314円)

2025年1月現在の価格 1米ドル=151円で計算



蚊帳の中で眠る親子
— 本山展示ルームでも現物を手にとってみることができます —

■なぜ防蚊対策するの？

アフリカを中心に多くの子どもの命を奪っているマラリアは、ハマダラカという夜行性の蚊が媒介する感染症です。①蚊の駆除 ②抗マラリア薬の普及、③防虫剤処理をした蚊帳の使用が、マラリアの有効な対策と言われています。ワクチンも開発されていますが、まだ普及していません。

■日本企業による画期的な蚊帳の開発！

蚊帳に防虫効果を持たせるために、以前は、定期的に蚊帳を防虫剤に漬けて乾かす必要がありました。2000年代中頃、日本の企業が、糸の中に防虫剤を練り込み、長期にわたって効果を持続させる技術を開発しました。この技術を生かした蚊帳の普及により、マラリアによる子どもの死亡は劇的に改善しました。日本企業はタンザニアの現地メーカーに無償で技術提供し、現地で蚊帳が生産されています。(ドイツ、アメリカ、中国、インド、スイスの企業も生産)

ご寄付いただきました

— Special Thanks —



9月14日(日)
筝曲千景の会 浅井りえ様・
Cool-X 畠地礁太様



9月27日(土)
金城学院大学
野田セミナー様

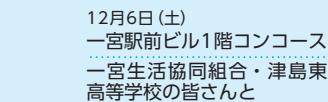
Hand in Hand 募金活動報告

愛知県ユニセフ協会主催で、県内3か所にてユニセフハンド・イン・ハンド募金を開催しました。

どの日も冷たい風が吹く寒い中でしたが、高校生、大学生、一般のボランティアの皆さんにご協力いただき、たくさんの募金が集まりました。「寒いのにご苦労さま」「頑張ってね」「少しだけ子どもたちに」など、多くの方々から温かいお声もいただきました。また、フレンドネーション(オンライン募金)にも多くの寄付をお寄せいただきました。たくさんのお気持ちに心より御礼申し上げます。



11月24日(月・祝)
栄 三越周辺
インドネシア・ベトナム留学生
ボランティアの皆さんと



12月6日(土)
一宮駅前ビル1階コンコース
一宮生活協同組合・津島東
高等学校の皆さんと



12月14日(日)
豊橋駅周辺
桜丘高等学校・コープあいち組合員
の皆さんと



11月11日(火)
(株) みらいホールディングス様



12月26日(金)
(株) クリエストジャパン
ホールディングス様

愛知県ユニセフ協会 顧問・役員・評議員紹介 (第2期) 敬称略

顧問	大村 秀章	愛知県知事	理事	野村 正弘	愛知県生活協同組合連合会 専務理事
顧問	廣沢 一郎	名古屋市長	理事	船橋 拓行	一宮生活協同組合 理事長
会長・理事	杉山 直	国立大学法人東海国立大学機構 名古屋大学総長	理事	尾関 俊紀	みなと医療生活協同組合 理事長
副会長・理事	浅井 清文	公立大学法人 名古屋市立大学学長	理事	山本 昌也	名古屋大学消費生活協同組合 専務理事
副会長・理事	川畑 博昭	愛知県立大学学長	理事	森 政広	生活協同組合コープあいち 理事長
副会長・理事	小室 尚子	金城学院大学学長	理事長	平光 佐知子	愛知県ユニセフ協会 事務局長
理事	岡田 亜弥	名古屋大学大学院国際開発研究科 教授	評議員	栗木 晴久	愛知県公立高等学校長会 会長
理事	小貫 武	日本放送協会 名古屋放送局 局長	評議員	加藤 広也	愛知県小中学校長会 会長
理事	林 泰敬	東海テレビ放送株式会社 代表取締役社長	評議員	後藤 澄江	社会福祉法人 愛知県社会福祉協議会 会長
理事	田中 康之	東海ラジオ放送株式会社 代表取締役社長	評議員	渡辺 英津子	公益財団法人 あいち男女共同参画財団 専務理事
理事	升家 誠司	中部日本放送株式会社 代表取締役社長	評議員	小林 啓示	ワーカーズコープ・センター事業団 本部長
理事	藤井 達郎	テレビ愛知株式会社 代表取締役社長	評議員	長江 浩幸	南医療生活協同組合 理事長
理事	加藤 義智	株式会社エフエム愛知 代表取締役社長	評議員	森 英一	北医療生活協同組合 理事長
理事	浦出 高史	株式会社 ZIP-FM 代表取締役社長	評議員	森田 幸治	愛知県労働者共済生活協同組合 専務理事
理事	鈴木 孝昌	株式会社中日新聞社 相談役	評議員	棟田 光彦	名古屋工業大学生活協同組合 専務理事
理事	安場 孝	株式会社朝日新聞社 名古屋本社代表	評議員	桑原 武夫	金城学院大学生活協同組合 専務理事
理事	伊藤 一章	カゴメ株式会社 執行役員 名古屋支店長	評議員	中川 明日香	名古屋市立大学生活協同組合 専務理事
理事	千賀 昭政	コープあいち 虹の会 代表	評議員	中根 正人	愛知県公立大学生活協同組合 専務理事
理事	勝田 覚	愛知県労働者福祉協議会 事務局長	評議員	広瀬 一行	オリーブの会 名古屋 会長
理事	浅井 大美子	筝曲千景の会 代表	評議員	中井 恵美	NPO法人子育て支援のNPOまめっこ 理事長
理事	永井 淳	一般社団法人日本ボーイスカウト愛知連盟 理事長	監事	内河 恵一	恵沢法律事務所 所長
理事	森 幸子	一般社団法人ガールスカウト愛知県連盟 連盟長	監事	中尾 さゆり	税理士

新しく団体賛助会員にご登録いただきました ワンストップパートナーズ株式会社様

昨今の世界情勢の鑑み、AI等、人間の叡智はスポットライトを浴びるが如く、集結しています。

しかしながら、その裏側で、人類が本来最も大切にすべき隣人或いは世界の友人たちに対する優しさが、なおざりにされていると感じています。

そんな中、世界中の子どもたちが平等に笑顔を持てる、お腹一杯にすることができるよう日々、努力していただいているユニセフの活動に共感し、一助になればと思い、微力ですが活動に参加させて頂くことと致しました。



ONE STOP
PARTNERS
ワンストップパートナーズ株式会社

未使用切手・はがき・外貨のご寄付が増えています

現金でのご寄付の他に、物品(未使用切手・はがき・外貨等)によるご寄付があります。趣味で集めていた切手や未使用のはがき・外国コイン等がお家で眠っていましたら、当協会にお送りください。少なくとも古くても構いません。集めて業者にて換金し、募金として世界の子どもたちの支援に活用します。お問合せは当協会までお気軽に！

団体賛助会員登録いただいた愛知県内の企業・団体のみなさま

(2026年1月現在)

順不同・敬称略

愛知県生活協同組合連合会	株式会社昭和
愛知県農業協同組合中央会	株式会社ティア
あいち生活協同組合	株式会社デイリーフーム
一宮生活協同組合	株式会社東海共同印刷
イチビキ株式会社	株式会社トーカン
株式会社 おとうふ工房いしかわ	トランコム株式会社
株式会社オリックス自動車 リース営業本部東海営業部	北医療生活協同組合
名古屋支店	金城学院大学生活協同組合
株式会社クレスト ジャパンホールディングス	コープあいち虹の会
コーミ株式会社	生活協同組合コープあいち 中央製乳株式会社 テレビ愛知株式会社

賛助会員へのご協力を お願いします



オンラインでも手続きいただけます

年会費は、日本ユニセフ協会が行う募金活動および広報・アドボカシー（政策提言）活動のほか、愛知県ユニセフ協会をはじめとする日本ユニセフ協会と協定を結ぶ地域組織の運営にも役立てられます。

一般賛助会員(個人の方) 1口5,000円
学生賛助会員(18歳以上の方) 1口2,000円
団体賛助会員(企業・団体など) ... 1口100,000円

2026年1月時点の 愛知県ユニセフ協会

一般賛助会員	231名
学生賛助会員	9名
団体賛助会員	29団体
ボランティア登録人数	90名

お気軽にお立ち寄りください！

愛知県ユニセフ協会

〒464-0824 愛知県名古屋市千種区稻舟通1-39
生協生活文化会館2階(コープ本山2階)
☎ 052(783)7230 FAX 052(781)7191
月・火・木・金(祝日を除く)10時~16時
E-mail : aichi@unicef-aichi.jp
<https://www.unicef-aichi.jp/>
アクセス 地下鉄「本山」駅4番出口より南へ徒歩約2分

